

平成 29 年 11 月 6 日

各 位

会 社 名 新興プランテック株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 吉川 善治
 (コード番号 6379 東証第 1 部)
 問 合 せ 先 取締役 専務執行役員
 池田 俊明 (TEL 045-758-1950)

平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想と実績値との差異 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 29 年 5 月 10 日に公表した平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）の業績予想値と、本日公表の実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

あわせて、平成 30 年 3 月期（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）の通期の業績予想について、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異（平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	43,000	2,650	2,750	1,650	35.69
実績値 (B)	45,067	3,527	3,698	2,470	53.43
増減額 (B - A)	2,067	877	948	820	
増減率 (%)	4.8	33.1	34.5	49.7	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	46,525	3,520	3,371	2,143	46.37

(2) 個別

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	40,000	2,550	1,600	34.61
実績値 (B)	41,797	3,171	2,216	47.94
増減額 (B - A)	1,797	621	616	
増減率 (%)	4.5	24.4	38.5	
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	43,960	3,237	2,183	47.23

2. 平成 30 年 3 月期通期業績予想の修正（平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日）

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	85,000	4,600	4,800	3,000	64.90
今回修正予想 (B)	87,000	5,450	5,650	3,500	75.71
増減額 (B - A)	2,000	850	850	500	
増減率 (%)	2.4	18.5	17.7	16.7	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	101,923	7,904	7,934	4,746	102.68

(2) 個別

	売上高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	79,000	4,500	2,900	62.73
今回修正予想 (B)	81,000	5,150	3,350	72.47
増減額 (B - A)	2,000	650	450	
増減率 (%)	2.5	14.4	15.5	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	95,982	7,248	4,414	95.50

3. 差異および修正の理由

当期 (平成 30 年 3 月期) は定期修理工事が端境期にあたりますが、第 2 四半期累計期間においては、定期修理工事の工事量が想定以上に増加したことにより、売上高が当初の予想を上回りました。

損益面では、建設業界の人手不足等による労務単価の上昇により、外注加工費における工事原価の上昇要因がありましたが、収益管理の強化、作業効率の向上、間接コストの圧縮など、継続的なコスト低減を図り、収益の確保に努めた結果、営業利益をはじめとする各利益で当初の予想を上回りました。

なお、通期業績予想につきましては、第 2 四半期累計期間の実績において当初の予想を上回ったことを勘案し、連結、個別業績ともに前回発表予想を上回る見込みです。

(注) 今回の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、最終の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上